

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 木暮 律子	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
【研究活動】	
地域政策学を学ぶ留学生のための日本語教材の作成を目指し、『地域政策学事典』に出現する漢字の基礎調査を行った。今年度は漢字の難易度と出現頻度をもとに、優先的に学習する必要のある漢字を選定し、用例の収集に取り組んだ。	
【教育活動】	
①ゼミナール活動	
◇3年生：グループ研究の実施	
「演習Ⅰ」では、毎年グループで研究に取り組んでおり、研究テーマの設定から調査の計画・実施、報告まで学生が主体的に進めている。今年度は2つのグループに分かれ、「川越における観光サービスの課題」、「外国人観光客が日本の観光地に求めるもの」というテーマでそれぞれ調査を実施した。グループ研究の成果は、卒業論文集に調査報告書としてまとめ、春休みのゼミ合宿で発表した。	
◇2年生：『留学生のための防災マニュアル』の作成	
2年生を対象としたプレゼミ活動において、留学生のための防災ハンドブックの作成に取り組んだ。留学生が災害時に適切な行動を取れるように、自宅・大学・屋外の3つの場面に分けて必要な対応をやさしい日本語で解説し、冊子にまとめた。	
②アクティブ・ラーニングの実践	
「多文化共生論」の講義において、学生自らが問題を発見し、グループで解決策を議論する活動を取り入れることにより、学生の能動的な学びを引き出していけるように工夫した。また、ワークシートの提出を通して受講生の理解度をはかり、学生が持つ疑問を授業展開にも反映させるよう努めた。	
③異文化コミュニケーション能力の育成	
「異文化コミュニケーション」の講義において、留学生と日本人学生による異文化間協働のグループワークを実施し、日本語弱者の立場に立った話し方・書き方の実践的なトレーニングを行った。	
【社会活動】	
高崎市社会教育委員(平成27年7月1日～)	
・平成28年度西部地区社会教育研究会事例発表「若者の地域参加を促す社会教育の役割と支援～答申作成に向けて～」(2016年9月26日)	
・平成27・28年度答申書『若者の地域参加を促す社会教育の役割と支援』	
2 その他の事項	
・『留学生生活応援ブック』の作成：留学生のための大学生生活ハンドブックの改定を行い、新入留学生に配布した。この冊子は大学生生活に必要な日本語表現や高崎市の生活情報を、留学生にも理解しやすいやさしい日本語で解説したもので、ゼミ活動の一環として2009年より作成している。	
・「外国人学生のための進学説明会」参加：日本学生支援機構(JASSO)主催の進学説明会に参加し、日本の大学に進学を希望する外国人学生に対して、本学の特色や学生生活、入試等に関する情報の提供を行った(2016年7月10日)。	
3 次年度以降の計画・抱負	
昨年度実施した基礎調査の結果をまとめるとともに、留学生を対象とした調査を行うことで学習上の困難点を探り、導入教育で用いる専門日本語教材の作成を進めていく。	